令和5年度分 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 子ども発達総合支援センター 保護者等数(児童数)72人 回収数 23人 割合 31.9%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保 されているか	96 (%)	4 (%)	0 (%)		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	70	26	4		◆もう少し訓練の先生が増えたら、月2、 3回してもらえるのかなと思う。 ◆音楽療法士の職員を求めます。OT、PT の職員も増やしてほしいです。 ◆リハビリ施設等と同様ではあるがst, ot スタッフが少ない
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの 設置などバリアフリー化の配慮が適切に なされているか	96	4	0		◆入口に座って靴の脱ぎ履きが出来るように椅子を置いてほしいです。 高さが低くすぎて、介助し難いです。今のままだと子どももし難いので自分でできるようにならないです。 自分で脱ぎ履きできる子。介助が必要な子。のスペースを分けて下さい。重なるとゆっくり介助できません。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、松阪市子ども発達総合支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。	96	0	4		◆子どもにとっては、OT、PTともに月1回 では回数が少なすぎます。目標達成は到 底無理ですし、ADL向上にも繋がりませ ん。職員の増員を求めます。訓練後に5分 位話せる時間がほしいです。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか *2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。	92	4	4		◆平日、休日、長期休暇関係なく月1回の訓練のみなので、(行事などがない)柔軟に組み合わせるも何も工夫は一切されていません。その月1回が祝日になると2か月間何も活動プログラムはありません。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、 障がいのない子どもと活動する機会があ るか	26	39	35		◆交流など一度もありません。逆にお聞きしたいです。私が知らないだけですか?いつあるのですか?そもそもこのアンケートはどなたが作っているのですか?もう少し内容を吟味して質問内容を作って下さい。トンチンカンな質問ばかりですよ。実際に現場に携わっていない方ではないですか? ◆訓練だけの利用なので、あまり会わないです。 ◆施設の特性上、致しかないと思われます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧 な説明がなされたか	96	4	0		◆利用者負担はどのように計算してこの 金額なのかわかりません。紙だけ渡され ても説明が無ければ分からないですよ。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について 共通理解ができているか	96	4	0		◆担当の訓練士さんとは出来ています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助 言等の支援が行われているか	96	0	4		◆まだまだ足りません。定期的に懇談、 訓練後に話す時間を作ってほしいです。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援さ れているか	31	43	26		◆そもそも父母の会の活動、保護者会はいつ行われているのですか?今年度は何月何日に開催されたのですか?父母の会の活動内容は、何ですか?保護者である私は一切知らないのですが次そだちの丘に行ったら分かるように説明して下さい。もしくは分かるように健康チェックする部屋に貼っておいて下さい。ウチンカンな質問ばかりなので腹が立っかます。アンケート作った方は誰ですかとます。アンケート作った方は誰ですか出るわけないでしょ?他の保護者とゆっくり話したことはそだちの丘になってから1度もないです。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対 応の体制を整備するとともに、子どもや 保護者に周知・説明し、苦情があった場 合に迅速かつ適切に対応しているか	78	22	0		◆今年度は苦情を伝えたことないので分 かりません。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝 達のための配慮がなされているか	91	9	0		◆もっともっと伝達しやすい環境を作っ て下さい。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動 概要や行事予定、連絡体制等の情報や業 務に関する自己評価の結果を子どもや保 護者に対して発信しているか	79	17	4		◆ほけんだより、職員のお休みについては発信されていると思います。放課後ディの活動、行事は今年度何があったのですか?私は知りません。来年度の活動行事予定を教えて下さい。月2回の訓練以外にあるのなら楽しみにしています。
	14	個人情報に十分注意しているか	91	9	0		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュア ル、感染症対応マニュアルを策定し、保 護者に周知・説明されているか	74	22	4		◆入口が誰でも自動ドアで簡単に入れるようになっているのは、防犯上危険だと思います。暗唱番号で入れるようにするか、カードキーの使用、チャイムを鳴らして、職員が解錠するなど今の時代は考えて良いかと思います。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われている か	83	13	4		◆定期的ではないと思います。月1回の訓練では避難訓練に当たらなければしないことになります。災害はいつ起こるか分からないのだからもっともっとサプライズで、偽災害を起こして訓練しても良いと思います。
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	91	9	0		◆すごく楽しみにしています。 ◆いつもとても楽しみにしています。い つもありがとうございます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見
満足度	事業所の支援に満足しているか	87	0	13		◆訓練が月に1回てあまりにも少なすぎる。 ◆利用できる回数が少ない ◆一つの訓練、月2回ずつは受けられるようにしてほしいです。職員増員して下さい。

【今後の対応について】

(環境・体制整備)

- ・職員の配置については、職員体制及び業務運営上、可能な限り個別療育枠を設けています。
- ・ エントランスにおいて、靴の脱ぎ履きやその介助がスムーズに行えるよう検討していきます。

(適切な支援の提供)

- ・目標の達成には、センターでの療育を受けていただくことに加え、お子さんや保護者の方、学校等の先生が日々の生活の中でも取り入れていける方法を職員から提案していく必要があると考えます。今後も、お子さんや保護者の方、関係機関と情報共有や連携を図り、目標達成に努めます。 また、支援の目的や内容について、保護者の方の希望があれば、その都度、担当者にお声がけいただければ、できる限り時間を設けてお話をお伺いするよう努めます。
- ・個別療育日につきましても、予約枠に空きがあれば振り替えが可能な場合がございますので、担当者にご相談ください。
- ・センターを利用する中で「放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会」は現在ありませんが、今後、地域のイベントや交流会などへの参加に対する保護者の方のニーズ調査を行い、検討していきます。

(アンケート〔評価表〕について)

・このアンケート(評価表)は、国の「放課後等デイサービスガイドライン」で示されたひな形です。ガイドラインは、放 課後等デイサービスの一定の質を保つため、提供するべき支援の内容を示した全国共通の枠組みであり、ひな形はこの ガイドラインの内容を踏まえたものです。支援の多様性、事業所の特色により、当センターでは実施していない項目も ありますが、それらも含め、保護者の方に評価してもらい、きちんと公表していくべきであると考え、このひな形をそ のまま活用してきました。次年度からは、このアンケート(評価表)の目的や主旨もご理解いただけるよう、項目数や 意図する内容はそのままに、わかりやすい表記に努めていきます。

(保護者への説明等)

- ・ 令和6年4月報酬改定に伴う利用料の変更につきましては、個別にご説明させていただきます。また、利用日の翌月には 給付に係る明細をお渡ししておりますが、ご不明な点があればお声がけください。
- ・保護者に対しての面談は、担当者が個別に面談をする機会を設け、保護者の方の思いや希望、悩みを共有できるようにしています。また、希望があれば、その都度、できる限り時間を設けてお話をお伺いするよう努めます。
- ・「父母の会の活動支援や、保護者会等の開催等による保護者同士の連携支援」については、今後、保護者会等への参加 に対する保護者の方のニーズ調査を行い、検討していきます。
- ・保護者連絡用ツール「tetoru(アプリ)」では、行事等を掲載した「そだちの丘だより」を配信しておりますが、放課後等デイサービスは個別療育となるため、行事等は現在予定しておりません。

(非常時等の対応)

- ・エントランス入口の自動ドアは、誰もが自由に入れる状況となっています。不審者訓練等を徹底し、防犯対策に取り込んで対応していきます。
- ・非常時にお子さんや保護者の方を安全に避難誘導できるよう、非常時の指示の方法・内容等を全て見直します。職員の 避難訓練等を年9回実施するとともに、昨年に引き続き「防災週間」を設定し、お子さんや保護者の方に非常時の動き を経験していただき、安心して通所いただけるよう努めます。

(満足度)

・今後も適正な人員配置に努め、必要とされる専門性を生かした支援を図っていきます。